

【循環器内科】

高血圧のお話(6)

新しい高血圧治療ガイドライン

国吉病院

医師 国吉 和重 さん



本年4月に「高血圧ガイドライン2019」が発表されました。降圧目標がより厳しくなり、75歳未満の場合、診察室での上の血圧を130未満かつ下の血圧を80未満(家庭血圧はそれぞれ、5mmHg低い値)に、75歳以上の場合は、診察室での上の血圧を140未満かつ下の血圧を90未満(家庭血圧は同様に5mmHg低い値)にコントロールすることが目標となりました。

前回(2014年)のガイドラインに比べ、上の血圧は10mmHg低い目標となり、多くの高血圧患者さんは「厳し過ぎる」と感じているのではないのでしょうか。しかし、これは最近の米国および日本での臨床試験の結果、血圧を下げることで脳卒中や慢性腎臓病、心筋梗塞のリスクが減り、健康寿命が延びることにつながるとされたからです。しかし、日常の血圧管理では、家庭血圧と

診察室での血圧の値が5mmHg以上の変化がある人、家庭血圧の変動が大きい人(特に高齢者にみられます)の血圧値をどう評価するかという課題があります。個体差のある病態ですので、家庭血圧を記録して主治医と相談し、個々の適切な血圧管理が必要とされます。

医療法人三和会 国吉病院

高知市上町1-3-4

☎088-875-0231

【診療時間】

午前9:00～正午

午後2:00～午後5:00

※土曜日は午前診療のみ

【休診日】土曜日午後・日曜日・祝日

※急患は時間外でも診療いたします

【診療科目】

消化器内科・循環器内科・

消化器外科・緩和ケア内科・

整形外科・内科(ペインクリニック) 他